

村上和雄

京都大学農学部農芸化学科卒業、京都大学大学院農学研究科農芸化学専攻博士課程修了。農学博士。オレゴン医科大学研究員、バンダビルト大学医学部助教授、筑波大学応用生物化学系教授を経て、現在、同大名誉教授および公益財団法人国際科学振興財団バイオ研究所所長。専門は分子生物学。1983年に高血圧を引き起こす原因となる酵素「レニン」の遺伝子解読に成功。1996年に日本学士院賞を受賞。主な著書に『生命の暗号』、『スイッチ・オンの生き方』、『人を幸せにする「魂と遺伝子」の法則』、『今こそ日本人の出番だ』、『子どもの遺伝子スイッチ・オン!』などがある。

寺田信幸

東邦大学理学部生物学科卒業。医学博士(山梨医科大学)。信州大学医学部附属病院、国立循環器病センター、山梨医科大学医学部助手・助教授、山梨大学総合分析実験センター助教授を経て、現在、東洋大学理工学部生体医工学科教授。学校法人東洋大学理事。専門は、生体医工学、宇宙医学、環境生理学、医療情報学。

金子律子

東京大学理学部生物学科卒業、東京大学理学系研究科動物学専攻修士課程修了。医学博士。山形大学医学部助手、アルバータ大学医学部研究員、聖マリアンナ医科大学助手・講師・助教授を経て、現在、東洋大学生命科学部生命科学科教授。学校法人東洋大学理事。専門は神経生物学。神経細胞に及ぼすホルモンの影響などを主な研究テーマとしている。

白石弘巳

東京医科歯科大学医学部卒業、東京医科歯科大学大学院医学研究科神経精神医学専攻博士課程修了。医学博士。東京都精神医学総合研究所を経て、現在、東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科教授。同学部長。専門は精神保健学、精神医学。現在は精神科医療の改革、本人や家族支援のあり方、成年後見制度を研究テーマとしている。

河本英夫

東京大学教養学部基礎科学科卒業、東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。学術博士。長崎大学助教授を経て、現在、東洋大学文学部哲学科教授。東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ研究員。専門は科学哲学、システム論。現在はオートポイエシスとともに、認知神経リハビリテーションを研究テーマとしている。

岡崎渉

東洋大学工学部応用化学科卒業、東洋大学大学院工学研究科応用化学専攻博士課程修了。工学博士。東京職業訓練短期大学校非常勤講師、株式会社アリミノ研究員を経て、現在、東洋大学生命科学部応用生物科学科教授。同学部長。専門は応用微生物学、酵素化学、化粧品化学。

日時: 1月11日(土) 13時~17時

場所: 東洋大学白山キャンパス8号館125記念ホール

主催: 学術研究推進センター

共催: 東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ(TIEPh)

いのちの
尊さを考える